

Active Xコントロールの設定変更方法 (Excel～2013 版)

Excel2010、2013 における ActiveXコントロールの設定変更手順となります。Excel2016 は近畿労働金庫ホームページの「振込依頼書作成ツール (会員団体のお客さま向け)」ページの「ActiveXコントロールの設定変更方法 (Excel2016 版)」を、それ以外のバージョンの設定変更手順については、マイクロソフトのホームページをご参照ください。

なお、マクロ・ActiveXコントロールの設定を正しく実施すると、『振込依頼書作成ツール Ver2.9 (Excel～2013 版)』起動時に以下のような警告メッセージが表示される場合があります。

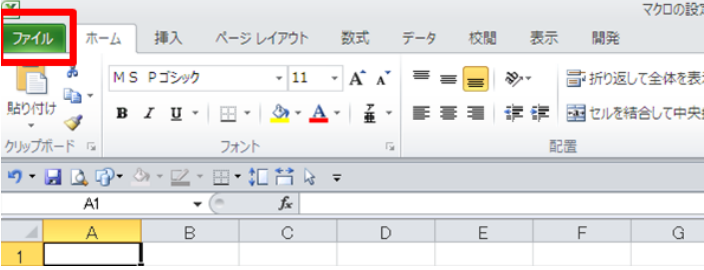
セキュリティの警告 一部のアクティブコンテンツが無効にされました。クリックすると詳細が表示されます。 コンテンツの有効化


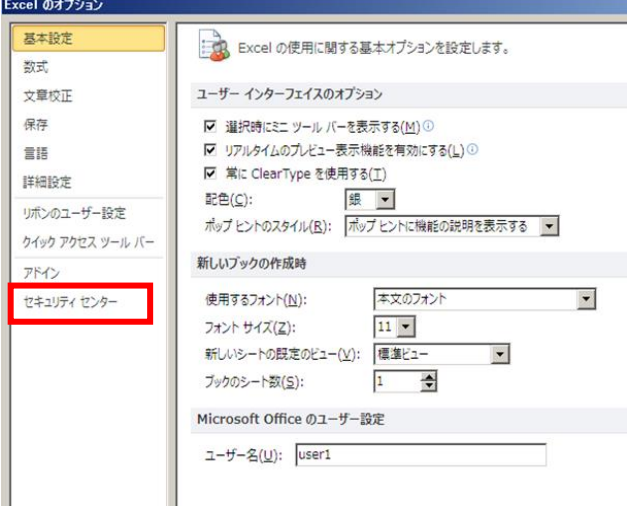

また、インターネット上からダウンロードして『振込依頼書作成ツール Ver2.9 (Excel～2013 版)』を取得した場合も以下のような警告メッセージが表示される場合があります。


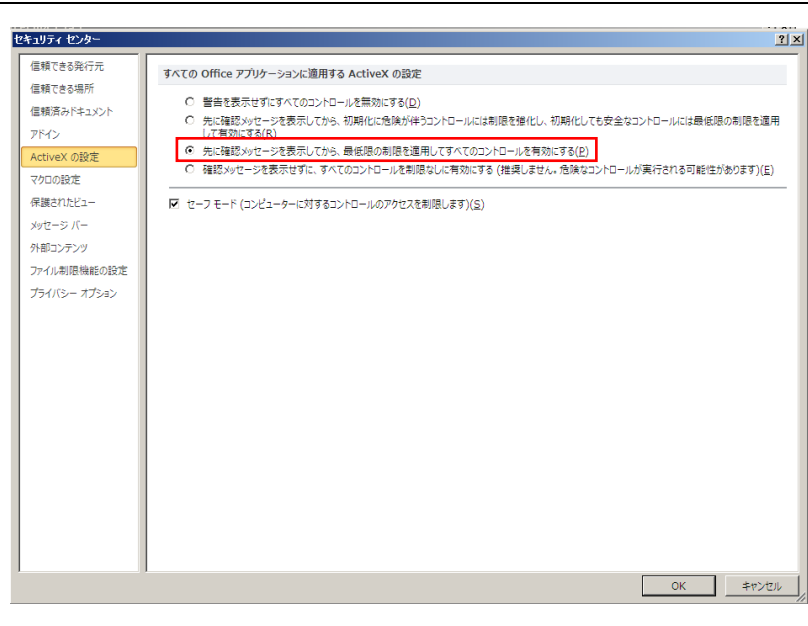
保護されたビュー このファイルは、インターネット上の場所から取得されており、安全でない可能性があります。クリックすると詳細が表示されます。 編集を有効にする(E)

警告メッセージは Excel のバージョンによって表示内容や表示箇所 (画面上部・画面下部・ポップアップメッセージ) が異なります。いずれの場合も、警告が表示された状態では機能が無効化されておりますので、有効にする操作を実施してから有効にする操作を実施してから『振込依頼書作成ツール Ver2.9 (Excel～2013 版)』を使用してください。

(1) 設定変更手順 (Excel 2010、2013 の場合)

項番	手順	画面
1	Excel を起動する	
2	「ファイル」を選択する	

項番	手順	画面
3	「オプション」を選択する。	
4	「セキュリティセンター」を選択する。	
5	「セキュリティセンターの設定」ボタンを押下する。	

項番	手順	画面
6	「ActiveX の設定」を選択する	
7	「先に確認メッセージを表示してから、最低限の制限を適用してすべてのコントロールを有効にする」を選択し、「OK」ボタンを押下する。	
8	Excel を閉じる	<p>開いている全ての Excel ファイルを閉じる。</p> <p>※全ての Excel ファイルを閉じることで変更した設定内容が有効になります。</p>

上記完了後、「マクロセキュリティレベルの設定変更方法 (Excel～2013 版)」を実施し、「(すでに実施済みの場合は不要です)、『振込依頼書作成ツール Ver2.9 (Excel～2013 版)』を起動してください。

※Microsoft Excel は、米国マイクロソフト社の登録商標です。

以上